

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	放送映画リテラシーE2	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	長濱和久	実務経験の有無・職種	有・映像制作の演出		
学習目的					
ネットを中心とした新たな映像メディアの台頭により過渡期を迎えている業界の現状を 各メディアの成り立ちや特性を学ぶ事で理解し卒業後のビジョンを明確化する事を目的とする。					
到達目標					
映像メディア業界の現状に対する理解からテレビ・映像メディアの将来を予測し“考察力”“分析力”の向上を図る。					
教育方法等					
授業概要	授業の前半では業界時事問題を取り上げ最新の業界動向や問題点を明らかにすると共に後半では映像メディアがビジネスとして成り立つ仕組みを媒体ごとに解説。学生の理解度を確認する為に授業内レポートを実施。これらを授業内でフィードバックする事で他者の考えを知る機会を与え自らの考えを導き出す。				
注意点	授業内で取り上げる現状やデータを自ら分析する事で自分自身の考えとして確立する事を求める。授業内での積極的な発言については平常点に加算する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	映像コンテンツ及び映像制作総論	マルチメディア時代と映像クリエイター現状と将来性			
2回	制作フローとスタッフ編成と役割	制作現場の全体を知ることで、プロデューサーの仕事学ぶ			
3回	プロデュースするという事は	プロデューサーの責任、マネジメントを学ぶ			
4回	テレビビジネス・営業	テレビ局のビジネスモデルと視聴率、テレビ営業の仕組みと広告代理店を学ぶ			
5回	バラエティー番組 プロデュース	ワイドショー、情報バラエティー、お笑い、クイズなどの番組構成を理解する			
6回	商業映像 プロデュース	受信料と広告収入、番組はCMの為にある、プロデューサーVSディレクターなどを学ぶ			
7回	ドラマ プロデュース	キャスティング、予算、スポンサーなどドラマ制作の手順を学ぶ			
8回	映画 プロデュース①	テレビドラマの映画化、映画業界の繁栄と衰退、ハリウッドを知る、などを学ぶ			
9回	映画 プロデュース②	映画制作委員会を知ることで映画業界のお金の流れを理解する			
10回	スポーツ プロデュース	スポーツ大会、スポーツ番組の制作、お金の流れを理解する			
11回	ニュース、報道 プロデュース	新聞とニュース番組の違い、報道番組の生業を理解する			
12回	インターネット番組 プロデュース	インターネット番組の需要と供給を知る			
13回	企画プロデュース演習①	番組の企画、プランニング、プロデュースを考えて発表する			
14回	企画プロデュース演習②	CMの企画、プランニング、プロデュースを考えて発表する			
15回	授業復習	試験対策として全授業の復習をする			